



DSU



釜山
Dongseo University

NIAD-UE シンポジウム

第2部 各論 — 中韓との協働による教育⑤

立命館大学 「到達度アンケート」

京都

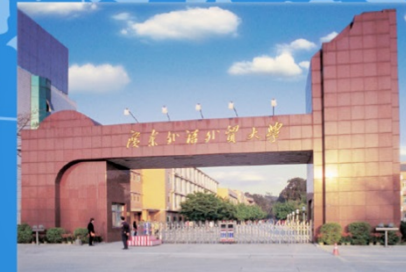
Ritsumeikan University

R
RITSUMEIKAN



広州

Guangdong University of
Foreign Studies



立命館大学文学部 キャンパスアジア事務局

プログラム・マネージャー 廣澤 裕介

1 概要(1) — 作成のきっかけ



- 3つの育成能力(語学力・専門知識・コミュニケーション能力)のうち、試験や語学検定といった客観評価では測定が難しい部分—特にコミュニケーション能力の検証方法を模索
- 学生一人ひとりに焦点を当て、変化・成長が測定できるツールの導入を検討
- アンケートを通じて目指すべき人材像を学生へ認識させ、学生は現在地を把握し、目標を立てる機会を得られる

1 概要(2) — 経過



- ① 検証したい観点(要素)を絞り込み、既存のアンケートを基にして
本学の教学IRと共同で質問票を作成。
- ② 質問票を広東外大・東西大で中国語・韓国語に翻訳。両大学と
内容や目的実施方法を確認・共有。三大学の事務局が連動し、
合計4回、実施。
(12年8月(プレテスト)、13年2月、14年2月、8月)
- ③ 学生たちの回答は教学IRの専門家が分析。
結果を中韓の大学と共有し、各大学のプログラ
ム運営に反映。また、学生にも還元して成長を振
り返る機会に繋げた。



2 分析観点 (1)



【観点①】 社会的スキル

他者との関係を構築する力／他者との関係を維持する力／
感情をコントロールする力／問題を解決する力

- 質問例①**
- ▶ 初対面の人に、自己紹介が上手にできますか？
 - ▶ 仕事や作業をする上で、どこに問題があるかすぐにみつけることができますか？

【観点②】 リーダーシップ

グループを牽引する力／
グループ内の関係を調整・統率する力

- 質問例②**
- ▶ 所属するグループの目標を中心となって立てる
 - ▶ 新しい仲間が馴染めるような雰囲気を作る努力をしている

2 分析観点 (2)



【観点③】 ストレスに対処する力

チャレンジする力／感情に流されず行動する力／
目標に向けて努力する力／粘り強く継続的に取り組む力

- 質問例③**
- ▶ 色々なことにチャレンジするのが好きだ
 - ▶ つらい出来事があると耐えられない (※逆転項目)

- これら3つの観点／10個の要素を測定するため、4つの設問／88個の質問からなる質問票を作成した(+自由記述1問)

3 回答集約方法



(回答画面)

キャンパスアジア ポータル ID CA00R99(テスト データ) | logout

アンケート表示
到達度アンケート

このアンケート調査は、立命館大学、東洋大学（韓国釜山）、広東外語外貿大学（中国広州）の三大学が共同運営するキャンパスアジア・プログラムに関連して、学生のみなさんの普段の行動や考え方についてお尋ねするものです。お答えいただいたデータにもとづき、プログラムの円滑な運営を目的としていきたいと考えています。みなさんの回答をより具体的な教育改善や学習支援へと生かしていくために、アンケートには学生証番号を記入していただきますが、大学での成績評価とは一切関係ありません。また、データは統計的に処理されるため、みなさんの回答が他の学生に知られることもありません。回答はあまり深く考え込まず、あなたが思った通りのことを答えて下さい。なお、無回答の部分があるとそれ以外の回答に偏りも分析に支障が生じるため、なるべく全ての質問に回答してください。ご協力をお願いします。

※ 本調査の企画・実施に関する情報は以下の通りです。
 【実施主体】 立命館大学、東洋大学、広東外語外貿大学
 【問い合わせ先】 立命館大学文字部キャンパスアジア事務局
 e-mail: c-asia@st.ritsumei.ac.jp

質問1 他の人とのかかわりや何らかの仕事・作業の仕方に関してお尋ねします。次の各項目について、普段のあなたとの程度あてはまりますか。

01. 他人と話していて、あまり金額が絶切れないほうですか
 1. いつもそうではない 2. たいていそうでない 3. たまにそうでない 4. どちらともいえない 5. たまにそうだ 6. たいていそうだ 7. いつもそうだ

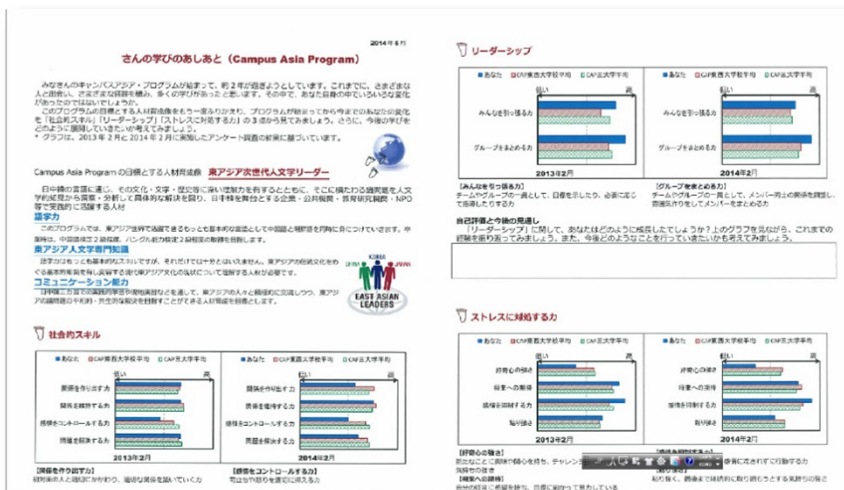
02. 他人にやってもらいたいことを、うまく指示することができますか
 1. いつもそうではない 2. たいていそうでない 3. たまにそうでない 4. どちらともいえない 5. たまにそうだ 6. たいていそうだ 7. いつもそうだ

(集約データ)

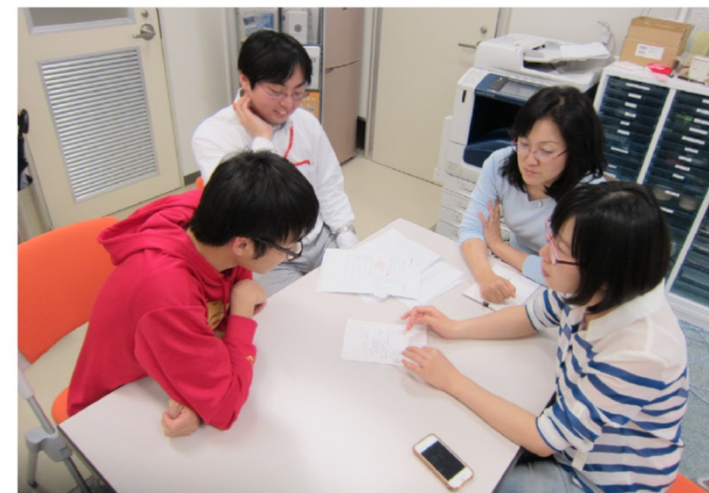
Name	Q1-1	Q1-2	Q1-3	Q1-4	Q1-5	Q1-6	Q1-7	Q1-8
OD01	5	3	6	6	2	5	4	3
OD02	6	6	6	6	6	6	6	6
OD03	7	7	5	5	6	6	3	5
OD04	6	7	7	6	5	6	6	6
OD05	6	6	6	6	6	6	6	6
OD06	3	6	6	6	5	4	5	5
OD07	3	6	6	3	5	3	5	3
OD08	6	6	6	6	6	6	6	5
OD09	6	5	6	6	7	5	6	6
OD10	7	7	6	6	7	6	6	6
OG01	2	2	2	2	3	2	2	2
OG02	5	6	6	6	5	5	6	4
OG03	2	2	2	2	2	2	2	2
OG04	2	7	7	7	7	7	6	6
OG05	3	6	6	6	6	6	6	6
OG06	7	5	5	6	5	5	6	2
OG07	6	6	6	6	5	6	6	6
OG08	5	6	7	7	3	7	7	4
OG09	6	7	7	6	6	6	6	3
OG10	7	7	6	4	2	6	7	6
CA00R01	6	6	6	6	5	6	6	6
CA00R02	2	6	6	5	5	6	5	6
CA00R03	3	4	4	5	2	4	3	2
CA00R04	3	3	3	4	2	4	4	3

- 「WEB履修管理システム」(ポータルサイト)を用いて、オンライン上で、いつでも・どこでも回答できる環境を用意
- 回答は専門家が分析しやすいよう、Excel形式で出力できるようにした

4 学生への還元と面談



(個票)



(個別相談)

- ・ 1回目(2013年2月実施)と2回目(2014年2月実施)の結果をグラフ形式でまとめた個票を作成し、学生に提示
- ・ 約1年間(=移動キャンパス1年目)の経験を通じてグラフ上に表れた変化を、学生自身に振り返らせた
- ・ その振り返りの結果を基に、日本学期期間中の5月~6月にかけて学生一人ひとりと個別面談を実施

5 成果



- 1 教職員が時どき感じた学生の変化成長が、アンケート上でも表われることが多く、「学生一人ひとりに焦点を当て、変化・成長を測定する」という目的については一定の効果があったと思われる
- 2 個別面談を通じて、学生の葛藤や成長など、数値上の変化の裏側にある、人間的・内面的な変化を拾い上げることができた
- 3 自由記述の問題を設け、プログラムに対する
学生の意見を集約
- 4 集約した意見は三大学で共有し、プログラムの運営に反映させた



6 自由記述の回答例とプログラムへの反映例



- 回答例**
- ① ▶ (東西大学生) 中国学期では中国語の授業のみで、日本語を使う機会が無く、忘れてしまう。その国の言語以外の授業も設けて欲しい。
 - ② ▶ (広東外語外貿大学生) 立命館大学の部活動にも参加させて欲しい。
 - ③ ▶ (本学学生) きちんと就職できるか不安です。
 - ④ ▶ (広東外語外貿大学生) 日本でのインターンシップに参加したいが、奨学金が無ければ難しいため、不安です。

- 反映例**
- ① ▶ 日本学期に本学の学生向けに開講を予定していた中国語・韓国語の授業を中韓の学生にも開放。2年目には三大学が自国以外の学期にも遠隔講義を提供。
 - ② ▶ 邦楽や能、茶道といった課外活動との交流企画を実施。
 - ③④ ▶ 遠隔講義システムを用いて韓国にいる三大学の学生向けに進路就職ガイダンスを実施。
(本学のキャリア形成支援部署の協力のもとに実施)



(進路就職ガイダンスの様子)



ご清聴ありがとうございました